

1ねん

5月15日、井の頭自然文化園へ行きました。すごしやすい最高の一日となりました。今回のめあては「なかよくけんがくしましよう」でした。街中の移動や電車の乗り降りでは、ペアやグループの友達に声を掛けて安全に気を付ける様子やマナーを守る態度が見られました。自然文化園の「ふれあいコーナー」では、一人一人が自分のモルモットに優しく接することができました。午後は動物解説員の方からゾウやハクビシンの特徴を詳しく聞くことができ、動物への関心を深めることができました。いろんな動物と親しみ仲良くなりました。



思い出の遠足

2ねん

5月1日に多摩動物公園へ行きました。今回のめあては、「友だちと仲良く行動する。」「ルールやマナーを守る。」ということでした。午前中はライオンバスに乗ったり、班ごとにアフリカ園の動物を観察したりしました。昼食後は、寝顔の可愛いコアラや、タワーを登るオランウータンなどたくさんの動物の姿を間近で見ました。動物たちを目の前にして興奮気味でしたが、大騒ぎせずにマナーを守って行動することができました。さらに、グループ活動では、見たい動物を譲り合いながら見学することができました。また、集合時刻を守って場所に集まることもでき、時間を意識して行動することができました。写真や映像では分からない発見をたくさんすることができたことが、一番の学びでした。



3ねん

5月22日に昭和記念公園へ行きました。めあての一つに電車などのマナーがありました。荻窪駅から電車に乗りましたが、リュックを前、後のどちらに抱えるべきか、席が空いていたときに、座るべきか立つべきかなどを、周りの状況に応じて自分で判断して行動できました。他の乗客に声をかけ席を譲る姿もみられました。子どもの森で、班ごとに行動するスタンプラリーを行いました。3年生は新しいクラスとなって1カ月程度ですが、各班チームワークを発揮していました。どの順番で回るかを相談し、協力してチェックポイントの課題をクリアしていました。2年生の頃は指示を聞いて行動することが多かったのですが、今回の遠足では自分たちで判断し協力して行動できた3年生でした。



4ねん

4月24日に高尾山に遠足に行ってきました。行きは琵琶滝コース(6号路)を90分で登る目標で出発。最初こそ「楽勝!」「もっと早く歩こうよ!」と、余裕を見せていた子どもたちですが、30分も経つと「まだ?」「いつになったら着くの?」という声が大きくなってきました。沢で足がずぶ濡れになったり、最後の階段で息を切らしたりしながらもようやく頂上に到着。雲行きが怪しかったせいか、ほぼ貸し切り状態の頂上。それぞれ思い思いの場所を陣取り、楽しみにしていたお弁当とおやつをおいしくいただきました。帰りは稲荷山コースです。昼食休憩で体力を回復させた子どもたちは、元気が有り余っていたのが、下り坂で勢いが止まらず滑って転んだり尻もちをついたり大騒ぎ。しかし、大きな事故やケガもなく全員無事に下山できました。帰りの電車を待つホームで、「もう歩きたくない!」という声と、「楽しかった!今すぐにでももう一回登りたい!」という声があったのが印象的でした。



平成25年6月3日



第62号



# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校

開校6年目を迎えて

校長 福田 晴一

本校は、この6月12日の開校記念日で開校6年目となります。開校以来、保護者の皆様方、地域の方々のご支援により着実に足跡を天沼の地に残し、発展してきております。今年度の480名の在籍児童は全て、天沼小学校になってからの入学ですので、正に「天沼っ子」と称せます。天沼小学校の5年間の歩みを語るに「旧・杉並第五小学校」「旧・若杉小学校」の歴史を抜かしては語れません。私も着任しまして、素晴らしい校舎を回るたびに、地下の「郷土資料室」には足が止まります。私自身も杉並区の教員として20年近く勤務しておりますので、両校舎を学びの舎としていた当時の様子や歴代の校長先生方の写真が懐かしく思われます。開校5年が過ぎ、新しく入学された保護者の方も多いかと思いますので、開校記念日に併せまして、本校の歩みを紐解いてみたいと思います。

本校の前身である「旧・杉並第五小学校」は83年の歴史に、「旧・若杉小学校」は67年の歴史に幕を閉じ、「旧・若杉小学校」の校舎に杉並区で初めての統合新校として「天沼小学校」が平成20年に開校しました。その時の第一期入学生が現在の6年生です。そして、「旧・杉並第五小学校」の校舎を解体、更地にしまして、現在の天沼小学校新校舎の着工にかかりましたのが、同年の平成22年12月に「旧・若杉小学校」の校舎から、すべてが真新しい現校舎に移転してきました。今このように文字で表すと簡単ですが、「旧・杉並第五小学校」から児童共々、教材教具を移したことは容易なことではなかったと推察いたします。また、思い出の詰まった校舎が解体される様子を見つ、

登下校していた当時の子どもたちの気持ちも複雑だったでしょう。そして、再度に渡る移転・・・と、現在に至るまでに多くの苦労をされてきたわけです。杉並区政80年にとって初めての統合新校ですので、区としましても区の教育理念の実現に向け、施設設備の充実はもとより様々な思いをはして建築された事と思います。

週日、杉並区の過去40年間の児童生徒数の推移を見る機会がございました。「旧・杉並第五小学校」は、児童数の最も多い892名(S.52年)から272名(開校時)に、「旧・若杉小学校」は614名(S.54年)から103名(開校時)となっていました。杉並区全体でも、児童数の最も多かった昭和54年の53,574名が、現在は55%減少の24,069名にまで減少しています。時代の流れ、少子化に伴い仕方のないことかもしれません。

今年の4月、杉並区の二番目の統合新校として「永福小学校」が誕生しました。平成27年度には小中施設一貫型の「杉並和泉学園」(和泉小学校、新泉小学校、和泉中学校の統合新校)が誕生します。今後も、統合新校は増えると思います。その意味においては、この天沼小学校はこれから進む統合新校のモデル的な役割も担っております。古き歴史は変えられませんが、未来と私たちは変えられます。他校に類を見ない、力強い応援隊「あまぬまワンダラーズ」と経営ブレインの「学校運営協議会」に支え導かれ、杉並教育ビジョン2012「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」のモデルを示すべき、天沼小学校も第二ステージになりました。

どうぞ、お時間のあるときに地下の「郷土資料室」をご覧くださいと思います。

.....今月の目標.....

生活

清潔に過ごしましょう

保健

歯を大切にしましょう

給食

清潔に気をつけて  
食事をしましょう